

平成21年度 事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名		柏原市商工会	
	代表者職・氏名		会長 木村建三	
	所在地		〒582-0007 柏原市上市1丁目2-2	
	担当者	職・氏名	事務局長 細田純司	
		連絡先	電話番号(直通) :	072-972-0881
			Fax :	072-973-1201
E-mail :			kisci@silver.ocn.ne.jp	
設立年月日		昭和36年5月1日		
職員数 (うち経営指導員数)		7名(7名)		
所管地域		柏原市		
管内事業所数		2,500(平成18年事業所統計調査)		
管内小規模事業者数		1,860(平成18年事業所統計調査)		
会員数(組織率)		1,313(52.52%)		
については直近の数字を記載のこと				
主な事業概要(定款記載事項等)				
地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資し、もって国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。この目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。				
商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 商工業に関する情報又は資料を収集し、提供すること。 商工業に関する調査研究を行うこと。 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 商工業に関する施設を設置し、維持し又は運用すること。 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 行政庁等の諮問に応じて、答申すること。 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む。)を処理すること。 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。				

各種データ

柏原市商工会

経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	19	0	29	46	258	1	1	0	24	378	194	社
建設業	0	16	15	19	38	42	1	0	0	20	151	82	社
小売業	2	33	5	55	78	40	1	0	0	12	226	121	社
卸売業	0	3	2	2	2	21	0	0	0	7	37	23	社
サービス業	0	42	0	37	60	27	0	0	0	7	173	106	社
その他	0	6	0	8	8	6	0	0	0	1	29	20	社
小計	2	119	22	150	232	394	3	1	0	71	994	546	社
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	社
合計	2	119	22	150	232	394	3	1	0	71	994	546	499

その他の内訳

建設許可 ・ 販売促進

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	1	5	0	50	158	429	3	9	0	28	683	357	社
建設業	1	14	0	71	154	126	0	0	0	42	408	229	社
小売業	0	14	0	41	178	68	0	0	0	18	319	206	社
卸売業	0	2	1	6	25	35	1	1	0	2	73	48	社
サービス業	0	13	1	53	198	74	2	0	0	7	348	211	社
その他	0	4	0	6	47	49	0	0	0	5	111	73	社
小計	2	52	2	227	760	781	6	10	0	102	1,942	1,124	社
創業	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	4	4	社
合計	2	52	2	228	761	782	6	10	0	103	1,946	1,128	1,021

その他の内訳

建設許可 ・ 販売促進

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

柏原市商工会

(1) 事業の目標

- ・事業者との接触も問題点意識をもつて接する。指導員のスキルアップを図る。
- ・商業活性化事業として「とくとく市」の実施にあたり、参加商店の多様化・現在地以外にも開催地を見つけ広域化していくことにより、消費者を市外及び大型店への流出を市内商店街、小売店に導く。
- ・JOB・マッチング・サテライトでは求人依頼に労力がかかるが、就職を希望する求職者のため、ニーズに応えていく。
- ・観光資源を活用し、販路を拡げられるよう取り組む。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

- ・とくとく市
定例で第4日曜日を開催日にし、固定化したものをつくってきた。参加店も散發ではあるが、他地区商店の出展を得た。また、来場者にアンケートを実施し、消費者の消費動向や商店街で買い物をする・しない等の理由を集計し参加小売店に配り、今後の販促に活かせるようにした。
- ・JOB・マッチング・サテライト
総務・人事担当部署との打ち合わせに労力をかけ、ハローワーク・労働総合事務所・近隣商工会・商工会議所とのタイアップも順調に進められた。
- ・相談指導事業所の側にたった思考にと工夫をこらせるよう配慮した。

(3) 事業を実施した効果

- ・とくとく市
定着化の方向性が見えてきた。
若者の来場者はすくないが、近場での野外市場として年配者や新規の来場が増えてきた。
- ・JOB・マッチング・サテライト
ハローワーク柏原・柏原市・大阪府総合労働事務所及び近隣商工会・会議所と連携・協力して継続することにより、参加企業及び就職希望者からの信頼を得られた。また、就職支援セミナーに積極的に参加した求職者の4人に1人が就職を決めている結果となっている。
- ・相談指導
指導員が常に問題意識を前に出して対応していけるようになりつつある。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

- ・とくとく市
定例化してきたが、来場者が思ったより増えない。
効果が市内全体の商店街・小売店に及ばさない。
- ・JOB・マッチング・サテライト
景気低迷により、企業存続と雇用確保のため、雇用調整助成金を受ける企業が多く、特に製造業の参加企業が減少し、参加企業（介護関係）に偏りがあった。

(5) 来年度への取り組み

- ・とくとく市
日曜日の定例化を変更し、土曜日とし来場者の変化を見る。
- ・JOB・マッチング・サテライト
ハローワーク河内柏原と管内商工会・商工会議所と連携を図り、求人・求職者に満足してもらえる場を提供できるよう取り組んでいく。

柏原市商工会

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

日頃忙しい小規模事業者を巡回し、各種施策の情報提供や世間話をするなかで、小規模企業者がどのような支援をもとめているかがよくわかり、適切な支援が行えた。また、巡回することにより親密さが増し、気軽にらい所やTELを頂くことにより事業所(店)にとってはいろいろな情報の入手と、専門家(各種無料相談)のアドバイスを受けて頂くことにより満足を得ている。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	760	994	130.8%	80.0	4
窓口相談	相談件数	1,850	1,946	105.2%	70.0	3

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

金融支援・無担保・無保証人、低金利の融資を毎月1回回転することで、経営の改善と事業の発展を図った。
 記帳支援・継続的な記帳指導により、3年後には自主的に記帳が行えるように支援した。
 法務支援・高度・複雑な法務面に係る様々な課題の解決と事業所の負担を軽減し、効率的な経営に資した。
 税務支援・税務面における様々な課題を解決することにより、事業所の負担を軽減し、効率的な経営に資した。
 労務支援・労務面における様々な課題を解決することにより、事業所の負担を軽減し、効率的な経営に資した。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	回転件数	30	42	140.0%	80.0	4
記帳支援	継続	指導件数	80	80	100.0%	70.0	3
法務支援	継続	相談件数	12	13	108.3%	70.0	3
税務支援	継続	相談件数	22	17	77.3%	60.0	3
労務支援	継続	相談件数	10	7	70.0%	60.0	3

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

・後継者難により高齢化した事業主や専従者を対象としたエクセルを活用(会計処理)した講習会を2回開催し、新型インフルエンザの流行に伴い、企業のとるべき対応策についてCSR講習会を開催。
 また、厳しい雇用情勢のなか、企業の存続と従業員の雇用を確保するため、雇用調整助成金説明会を開催した。
 関心のある事業所については個別相談会を開催。
 その結果、6社の企業が雇用調整助成金の申請をした。
 参加企業 25社
 個別相談 5社
 雇用調整助成金申請企業 6社

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	パソコン講習	継続	参加者数	20	19	95.0%	70.0	3
	雇用調整助成金説明会	新規	参加企業	25	25	100.0%	70.0	3
	インフルエンザと労務管理講習会	新規	参加企業	20	26	130.0%	80.0	4

地域活性化事業

支援のポイント・成果

商業の活性化のみならず地域の活性化を図るため、駅前である立地を活かし、柏原市連合商店会・柏原市・地元朝市連絡協議会・商工会が連携して商業活性化として「とくとく市」を開催。毎月約250人の来場者があり、創業を目指す体験者の参加も。工業についても、職安・労働事務所・柏原市・商工会が連携して「JOB・マッチング・サテライト」を開催し、今年は求職者の支援(就職支援セミナー)にも力を入れた。
 就職支援セミナー 参加者 368人(4月~12月 8月なし)
 JOB・マッチング・サテライト 3回(参加企業数38社・参加求職者225名・採用人数13名)
 適性診断 参加者 29名

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	商業活性化促進事業(とくとく市)	継続	来場者数	2,400	3,000	125.0%	80.0	4
	JOB・マッチング・サテライト	継続	採用	20	13	65.0%	70.0	4
	展示・商談会事業	継続	参加企業	4	2	50.0%	60.0	3
	柏原産業フェア	継続	相談人数	50	29	58.0%	60.0	3
	その他(地域力連携拠点)	新規	相談人数	6	10	166.7%	80.0	4

柏原市商工会

事業名	JOB・マッチング・サテライト						
新規/継続	継続						
想定している実施期間	20 年 (開始) ~ 23 年 (終了)		今年度 2 年目				
実施期間全体を通じて予定している事業計画	地域雇用サービスの核となる機関である河内柏原公共職業安定所（ハローワーク）と、地域企業と深い関係のある市、ハローワーク管内商工会、商工会議所が連携し、企業にとっては必要な人材の確保、仕事を探している人には雇用の機会を提供するものである。						
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	継続事業（2年目）として、ハローワーク、柏原市、近隣商工会・会議所と連携を図り実施・PRを行ってきた結果、市外（藤井寺・羽曳野・松原・東大阪）からも17社の企業参加を頂き、求職希望者も管内はじめ府内（大阪市他14市町村）、府外（奈良・京都）からも多くの参加を頂きました。また、就職支援セミナーに参加した求職者の約4人に1人が就職を決めている。求職者の方より来て良かった、今日で決まらなければ次回も参加したいとのアンケートを頂き、広域事業として成果があった。					
本事業の対象となる地域の現状や課題	景気低迷により市内大手企業のほとんどが企業存続と従業員の雇用を確保するため、雇用調整助成金を申請している状況の中、その大手企業の下請けをしている中小零細企業が大半を占めている現状であり、求人企業が減少していることから、参加企業の確保が課題となる。						
目標に対する実績	指標	採用人数					
	目標数値	20	実績数値	13	達成率	65.0%	
目標	JOB・マッチング・サテライト	4回	実績	3回			
	JOB参加企業	20社		38社			
	参加求職希望者	200名		226名			
	就職支援セミナー参加者	540人		368人			
	企業説明会参加企業	6社		1社			
	採用人数	20名		13名			
	適性診断参加者			29名			
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	就職希望者に、面接に必要な履歴書・職務経歴書の書き方や自己PRの仕方及び心得をテーマにした就職支援セミナーを専門家（カウンセラー）により毎月第3月曜日（8月除く）に開催。またJOB・マッチング・サテライトは、21/9月・11月・22/2月の第3木曜日（6月中止）に開催。2月は藤井寺・羽曳野・松原と連携を図り、概ね40歳未満の方を対象とした若年者就職フェアを開催。また、大阪総合労働事務所の協力で職業適性診断コーナーを3回同時に開催した。						
マスコミ等に 取り上げられた回数	1回						
PR方法と その影響	商工会（ホームページ・会報）、柏原市（ホームページ・広報）、ハローワーク（河内柏原・東大阪・河内長野・奈良一部）にチラシを配布。柏原駅掲示板及びアゼリア柏原に案内掲示。その結果、ハローワーク柏原管内以外の市町村、府外からも来場者があった。						
利用者満足度（点）	70						
事業評価	4						
実施した効果	希望職がなかった、企業数を増やしてほしい、1～2ヶ月に1度開催してほしい、業種（製造・営業・事務等）ごとに分けたフェアの開催等のアンケートを頂き今後の参考となり、求職者の多くは、履歴書・職歴書送付の段階で断られた方が多く、大変良い経験・勉強ができました、一度に他企業と面接ができ良かった等の意見を頂き、当初の目的である求人・求職者が直接出会う場を提供する事業として効果がでてきている。						
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	人材を維持するため助成金の申請を行っている企業、特に製造業が多く、JOB・マッチング参加企業が減少し、介護関係の参加が多く、業種に偏りが出てきている。今後、近隣商工会・商工会議所と連携を図り、合同開催することにより参加企業を維持し、一人でも多くの求職希望者が採用されるよう取り組んでいきたい。						
事業全体の収支状況	収入					支出	
	小規模補助金	920,000円	活動費	1,460,000円			
	商工会負担金	934,007円	会議費	100,000円			
			謝金	220,000円			
			消耗品・PR費他	74,007円			
計	1,854,007円				計	1,854,007円	